

兵庫県水産技術センターだより

硝酸塩センサー観測情報 SE-31-02号

2019年2月21日発行

※この調査は調査船に搭載した自動観測センサーを用いて、航行中に硝酸塩（NO₃-N）濃度を測定したものです（比色分析した値ではありません）。海域のDIN濃度の変動状況を見る目安としてご活用下さい。硝酸塩濃度は、概ねDIN濃度と連動しますが、港湾や陸域からの水の影響が及ぶ海域等では、DIN濃度はこの値よりも高い値を示します。

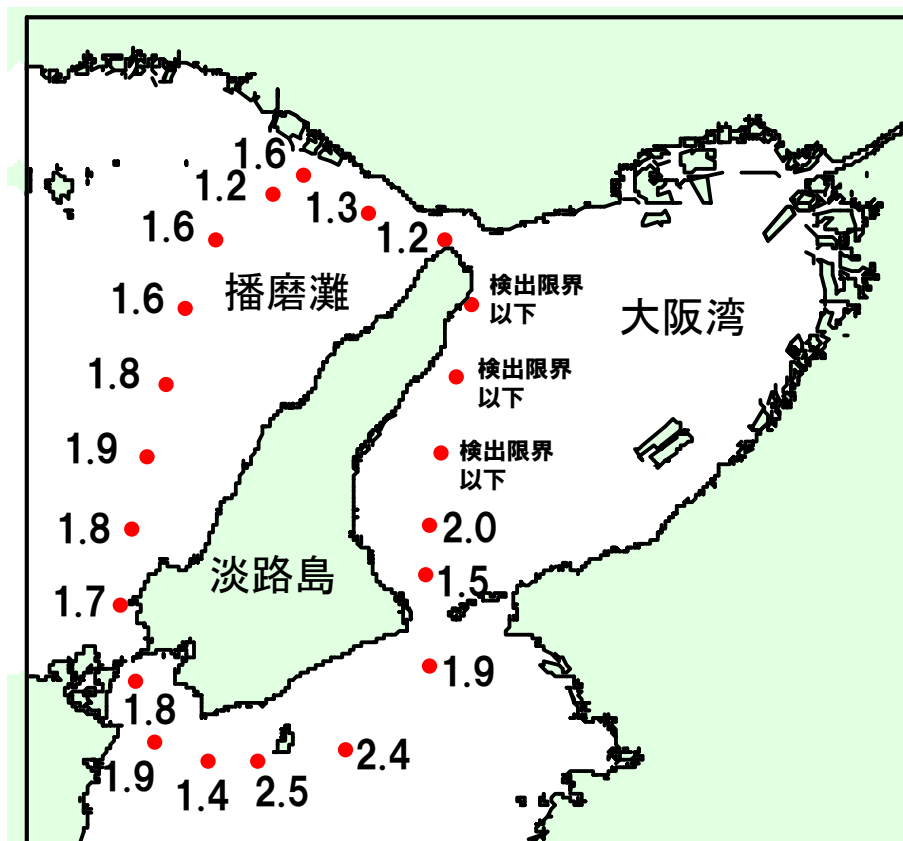
2019年2月15日に淡路島周辺の海域で、調査船に搭載したセンサーを用いて硝酸塩を観測しました（観測値は補正した値です）。



【概況】

淡路島東岸の北部で硝酸塩濃度が低い海域がありました。ノリ養殖管理にはご注意ください。

【観測結果】



硝酸塩濃度観測値（ $\mu\text{mol/L}$ 、数値は補正していますが目安の値とお考え下さい）

- ・本観測は不定期で実施します。
- ・お問い合わせ先 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター（担当：水産環境部）
Tel：078-941-8601、Fax：078-941-8604、Homepage：http://www.hyogo-suigi.jp/

【その他】

DIN（溶存態無機窒素）＝NO₃-N（硝酸態窒素）＋NO₂-N（亜硝酸態窒素）＋NH₄-N（アンモニア態窒素）